

## GALLOP-X 募集要項

主催 GALLOP-X 実行委員会  
 協力 福島県川内村・川内村商工会  
 開催日 2008年 4月27日 (日)  
 予選 2008年 4月26日 (土)  
 会場 福島県双葉郡川内村特設コース  
 参加資格 ルールとマナーを厳守できる方  
 レース形式 EARNEST RIDE (3時間耐久) FUN RIDE(2時間耐久)  
 募集クラス レギュレーションをご覧ください。  
 エントリー費 EARNEST RIDE 13,000 円  
 FUN RIDE 一名 11,000 円 二名 14,000 円  
 エントリー費には昼食が含まれます  
 保険 主催者指定の保険に強制加入となり、費用はエントリー費に含まれます。

予定タイムスケジュール (正式スケジュールは公式通知にて)

4月26日

	時刻	備考
前日受付&車検	13:00~16:30	
予選	14:00~16:30	予選受付は15時に終了します。

4月27日

	時刻	備考
受付&車検	6:45~	早まる場合があります。
ミーティング	8:15	早まる場合があります。
FUN RIDE スタート	9:00	
FUN RIDE ゴール	11:00頃	
EARNEST RIDE スタート	12:00	
EARNEST RIDE ゴール	15:00頃	
閉会式	16:00	早まる場合があります。

コース

川内村の牧草地を利用した特設コースとなります。EARNEST RIDE：フルコース

FUN RIDE：難易度を下げたショートコース

申込締切： 4月10日(必着)

参加受理書： 4月12日発送予定

申込方法

申込用紙に必要事項を記入し、参加料を添えて現金書留で。または郵便振替、銀行振込で送金後、振込の控えかコピーを添付し大会事務局まで郵送でお送り下さい。

送金先

新生銀行 本店 0449308 普通預金 口座名義 小松 保男(コマツ ヤスオ)

郵便振替 02150-2-12142 (口座名義) 小松 窠

申込・問合せ先

〒969-6152 福島県大沼郡会津美里町川原町甲1797 (小松 窠内)

GALLOP-X 実行委員会事務局 TEL：0242-56-2325

# GALLOP-X in KAWAUCHI 参加申込書

私は本大会の規則に従って下記の通り参加を申し込みます。

緊急時連絡先は万一大きな怪我をした場合等に備え親族の方を指定してください。

チーム名		車種	
参加クラス(で囲む)	A A ・ A A シニア ・ A ・ B ・ Fun-B ・ Fun-C ・ ミニ ・ レディース ・ デビュー		
改造の有無	有 無	有の場合 その内容を	

## 第一ライダー

フリガナ		性別	生年月日	年齢
氏名		男・女	昭和 平成 年 月 日	満 歳
指定ゼッケン	(AAクラスでゼッケンを指定された方のみ指定ゼッケンを記入してください)			
郵便番号	〒	住所はメール便を使う関係上、建物の名称まで正確に記入して下さい。		
住所				
自宅電話	TEL	血液型	型 RH + -	
緊急時連絡先	TEL	知らせる方の氏名・続柄		

## 第二ライダー (EARNEST RIDE は第二ライダーの出走はできません)

フリガナ		性別	生年月日	年齢
氏名		男・女	昭和 平成 年 月 日	満 歳
郵便番号	〒	住所はメール便を使う関係上、建物の名称まで正確に記入して下さい。		
住所				
自宅電話	TEL	血液型	型 RH + -	
緊急時連絡先	TEL	知らせる方の氏名・続柄		

## 誓約書

私は、本大会に参加を申し込むにあたり、大会趣旨に同意し私自身の責任と危険負担において参加することを自覚し、主催者が別に定める大会規則及び注意事項を厳守します。

大会に関連する期間中に私自身及び私に関連する者が被った死亡・負傷・物損・盗難等をはじめとする全ての損害について、私自身のみならず私の家族及び代理人から主催者及び大会関係者、協力者、他の出場者に対して、非難したり、責任追及や損害賠償請求や訴訟をしないことを誓います。尚、この事は主催者や大会関係者の手違い等に起因した場合でも変わりありません。

モータースポーツは危険を伴う競技であり、競技参加に当たり自らの責任において健康、車両、装備、競技中の危険回避等々を含め自己の安全を守る事を誓います。

また本大会に関連する全ての映像や写真、録音等に関して、主催者が本大会広報の為に私の氏名や写真等を使用することは自由であると認めます。

本大会の申し込みの際、参加が受理された後はいかなる理由があっても参加料等必要諸経費の返却の請求は致しません。

署名日 平成 20 年 月 日

参加者署名	親権者署名	参加者署名	親権者署名
印	印	印	印

参加者が未成年の方は、親権者の署名捺印が必要です。

署名捺印の無い方は無効となります。



## 7・エントリーのキャンセル

エントリーフィーの返還には、いかなる理由であってもそれを拒否する。

## 8・エントリーの受付拒否

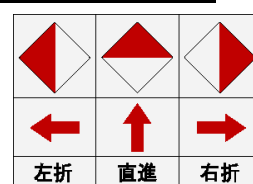
主催者はその理由を明確にする事なく、エントリーを受理しない場合がある。また主催者はその理由を明確にする事なく、出走を取り消す場合がある。

## 9・レース中の公式シグナル（MFJルールに準ずる）

旗の色	意味
赤旗	全員走行停止
黒旗とゼッケンを記したボード	当該ライダーは走行停止
黄旗（静止）	危険予告
黄旗（振動）	徐行、安全確認、追い越し禁止
青旗警告	ラップされようとしているため速やかに進路を譲る
緑旗	レーススタート時におけるコースクリアを示す為に使用される場合がある。
白黒チェッカー旗	レース終了
白色旗	救護活動中の合図
日章旗	スタート合図
その他オフィシャルの指示には従うものとする。	

## 10・コースマーカー

右図のコースマーカーを使用し、赤の先端が示す方向へ進む事を示す。



## 11・コース

コースはコーステープ、マーカー等で指定された区間を走行する。

コースアウトした場合はその地点からコースに復帰しなくてはならない。コーステープ、マーカーその他それらに類するコースを識別する物を切ったり、倒したりした場合は、必ず復旧してからレースに復帰しなければならない。これを怠った場合は失格処分となる。

## 12・レース

## 1 スタート方法

- スタートについてはコース状況その他を考慮し最善の方法が決定され、その内容は全参加者に公式通知又はスタート前のミーティングで告知される。また、指定された時刻までにスターティンググリッドに着けなかった選手はピット若しくは最後尾から全選手がスタートした後でスタートしなければならない。

## 2 レースの中止、中断及び再スタート

スタート直後のクラッシュやミスコース、重大事故等によるケガ人の救出によりレースを中断、中止する場合は以下の方法の内から行われる。

- スタート直後のクラッシュなどによりレース続行が不可能と判断した場合、赤旗によりレースを中止する場合がある。再スタートは15分以内に行われ、ライダーは当初のスタート位置からスタートするものとする。この場合レース時間を短縮する事は無い。
- スタート後にコーステープが切れたりし、ミスコースが発生しレース続行が不可能と判断された場合はレースを一旦中止する場合がある。この場合の再スタートは、順位が特定出来ない場合は初めの位置からの再スタートとし、順位が特定出来る場合はその順位順に5秒間隔で再スタートする。この場合オフィシャルの判断によりレース時間を短縮する事があり、その時間はスタート前に全員に告知される。
- レース中に重大な事故等により救護活動を行う場合レースを一旦中止する場合がある。中止は次の方法から適切な方法を選択し、参加者はオフィシャルの指示に従わなければならない。

コース上の複数地点でオフィシャルの指示により全車停止し、救護活動終了後に再スタートする。

チェックポイント通過後に全車停止し、救護活動終了後に再スタートする。

何れの場合も再スタートの方法は停止位置若しくはチェックポイントから10秒間隔でのスタートとし、救護活動中の時間もレース時間に含まれる。

## 3 レースの成立

レースはスタートから予定の50%の時間を経過した時点で成立し、何らかの事情により中止する場合はその時点での成績を持って決定される。

## 4 レースの短縮

気象条件その他の事情によりレースを短縮する場合がある。その場合その内容は十分な余裕を設けて全選手に伝えられなければならない。

## 5 車輛規定違反

レース中にサイレンサーの脱落、その他車両に問題があると主催者が判断した場合、ピットで修理してレースに復帰しなければならない。これを怠った場合は失格となる。

## 6 ゴール

Fun Ride、2時間レースの場合、1時間45分を経過した以降、トップのライダーが到着した時点で終了とする。EARNEST RIDE 3時間レースの場合、2時間45分を経過した以降、トップのライダーが到着した時点で終了とする。

## 7 順位は以下により決定される。

優勝者は定められた時間内に最も多く周回したライダー。又は定められた周回数を最も早く走行したライダーとする。  
二位以下は計測終了時点での周回数順とし同一周回数の場合はチェックポイント通過順とし、チェッカーを受ける事を完走条件とはしない。

## 8 コース閉鎖

トップがゴールしてから事前に通知された時間に達するまでチェッカーが降られ、以後は閉鎖される。万一指定された時間までにチェックを受けられなかった場合は、その周は無効周回とされる。

## 9 リザルト

レース暫定結果はレース終了後1時間以内に掲示され、その後15分間抗議及び質問を受けその後正式結果を発表する。

## 13・Cross-1ポイント

EARNEST RIDEのみ対象となります。Cross-1のポイント制度は参加台数の多いAクラスをも考慮して、ポイント獲得位枠の条件を、参加台数の45%までで（小数点一位四捨五入）最多39位までとします。

ポイントは下表により決定される。

順位	Cross-1 point
1	200
2	150
3	120
4	90
5	80
6	70
7	60
8	50
9	40
10	30

順位	Cross-1 point
11	29
12	28
13	27
14	26
15	25
16	24
17	23
18	22
19	21
20	20

順位	Cross-1 point
21	19
22	18
23	17
24	16
25	15
26	14
27	13
28	12
29	11
30	10

順位	Cross-1 point
31	9
32	8
33	7
34	6
35	5
36	4
37	3
38	2
39	1

## 14・賞典

原則として各クラス上位6名までを入賞とし表彰する。参加台数の加減によって入賞者数は変動する場合があります、入賞者の人数は下記により行なわれる。

参加台数（各クラスごと）	入賞者数
100台以上	15位まで
99～80台	12位まで
79～50台	10位まで
49～30台	6位まで
29～15台	4位まで
14～10台	3位まで
9～5台	2位まで
4～1台	1位まで

## 15・昇格および降格

AAクラス上位9位までの選手は翌年度順位に応じた固定ゼッケンが与えられる。

Aクラスのシリーズランキング3位までの選手は次年度よりAAクラスで参加が義務付けられ、固定ゼッケンが与えられる。また、Aクラス上位4位から12位までの選手にも固定ゼッケンが与えられる。なお、現時点での降格制度は設けない。

## 16・オフィシャル

オフィシャルはレースをスムーズに運営するための存在であり、個人を手助けすることは無いものとする。よってコース上でオフィシャルに援助を求めた場合は失格処分とする。

## 17・抗議

主催者の裁定に対し異議申し立てがある場合は、文書にて抗議内容を明記し、1万円を添えて提出することが出来る。なお、1万円は抗議内容が認められた場合のみ返還される。この形式を守らない抗議は一切受け付けず、抗議があった場合主催者は速やかに審査委員会を招集し、その抗議についての審議を行わなくてはならない。

## 18・ペナルティ

以下の行為を行った者には、ペナルティを処する

## 1・失格

- ・ コースの逆走。但し、走行困難な上りにおいて、一旦下り再チャレンジする場合の逆走は可とする。この場合コース脇を十分徐行して下り、走行するライダーの進路を妨害してはいけない。妨害した場合は失格となる。
- ・ 示された合図旗に従わなかった場合。
- ・ フライングを2度繰り返した場合。

- ・ 役員の指示に従わなかった場合。
- ・ 車検後の車両入れ替え。
- ・ 未登録ライダーの入れ替え。
- ・ ケガ、その他身体状況を考慮し主催者が競技継続困難と判断した選手。
- ・ 薬物、又はアルコールを摂取している選手。
- ・ 車両規定違反

#### 2・1 周減算または失格

- ・ ビット以外でのガス給油を行った場合。
- ・ レース中にオフィシャル、参加ライダー以外のいかなる援助を受けた場合。
- ・ ショートカット

#### 3・1 周減算

- ・ 故意に他のライダーの走路を妨害した場合。
- ・ 正当な理由なくして競技中にコース上に停止し続けた場合。
- ・ ビットでの危険行為。
- ・ ウォーミングアップ中止後、競技役員の許可なくエンジンを始動させた場合。

#### 19・ライダーの装備

- ・ 熱中症予防の為、キャメルバック等で水分を携行しなくてはならない。
- ・ ヘルメットはジェット型かフルフェイス型のもので、スネル2000規格以上、もしくはMFJ及びFM公認ヘルメットを着用しなければならない。
- ・ ガラスを用いたゴーグルの使用は一切禁止される。枠は柔軟な素材を使用したもので転倒による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなくてはならない。
- ・ 装備はレース中ライダーの身体の安全を確保し、車両の操縦を防げるものであってはならない。
- ・ 長袖の上着を着用しなくてはならない。
- ・ 長ズボンを着用しなくてはならない。
- ・ 突出部分のない革、または革と同等以上の性能を持つ手袋及びブーツを着用しなくてはならない。
- ・ プロテクター（プレストガード等）の着用が望ましい。
- ・ 環境に配慮し、使い捨てのティアオフレンズの使用は認められない場合がある。

#### 20・肖像権、

著作権の所在参加するエントラントおよび観客は、ホームページ、新聞、雑誌、TV等のあらゆるメディア、およびポスター等のパブリッシングにおいて写真等が掲載される事に同意しなければならない。また、掲載された写真等の著作その所在はすべて主催者およびCross-1が所有するものとする。

## 車両の改造

フレームの溶接加工を伴う改造・鋭利な仕上げ・破損・欠落・耐久性欠如・等、危険と判断される改造は認められない。尚、それらを考慮して安全な部品として製作された部品の交換は自由とする。市販レーサーより排気音が大きくなる改造は認められない。車検時に改造箇所の検査を迅速に行うため、改造車両はエントリー時にその改造箇所を明確に申告しなくてはならない。

## エキゾースト・パイプサイレンサー

エキゾースト・パイプとサイレンサーは必ず装着し音量制御を行わなくてはならない。

## 音量規制

音量規制排気音量は96dbとする。なお、現段階で全車両の音量測定は困難である為、検査対象車両は各レース毎に主催者から発表される。

## ハンドルバー

ハンドルバーには安全のためパッドを付けなければならない。クロスバーがない場合、ハンドルバーの中央にハンドルバークランプを広くカバーするパッドを取り付けなくてはならない。

## コントロールレバー

クラッチとブレーキレバーの先端はボール状でなければならない。但し例外として、クロスカントリーレースに不可欠なハンドガードを装着する際レバーが長すぎてハンドガードに収まらなくなることがあるが、その際は安全を考慮して切除面を丸めることを条件にレバー先端のボールを切除することを認める。

## スロットルコントロール

スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。モーターサイクルには有効なイグニッションキルスイッチ、又はボタンがハンドルバーの右か左(ハンドルグリップを握って届く位置)に設けられなくてはならない。このスイッチは故障しているエンジンを停止できなくてはならない。

## フットレスト

フットレストの先端には最低半径8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならない。フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を球状に丸められていなくてはならない。

## ホイールリム

原則としてタイヤ、使用されるホイールに制限はない。クラック、スポークの破損、安全上問題有るものの使用は禁止される。原則として使用されるタイヤの種類に制限はない。但し、公道等を使用するコース状況により主催者の判断で制限が設けられる場合がある。タイヤ表面に後から滑り止めスパイク、特殊チェーン等の装置を取りつけることは禁止される。

## ナンバープレート

ナンバープレートは前左右からハッキリと確認できるものでなくてはならない。ナンバープレートは最低でも縦15cm、横20cmの大きさがなければならない。このスペースが確保出来ない車両は、ヘルメットの両サイドに補助ゼッケンを貼り付けなければならない。

## 保安部品

公道走行時に必要な保安部品は取り外すか、もしくはテーピングが施されていないといけない。サイドスタンドを取り外す必要はないが、車検時若しくは走行中危険と判断された場合は必ず取り外さなくてはならない。これを怠った場合は失格となる。